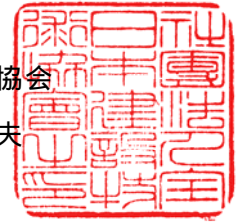


全建発第21～115号
平成21年 7月 13日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫



第552回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約7万3千名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第552回建設技術講習会では、河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働、良好な景観形成、地域の活性化等について学ぶとともに、河川については、治水対策への取り組み、河川環境の保全・復元、河川管理など、都市・地域整備については、地域再生・都市再生に向けた取り組み、都市防災の取り組み、都市交通戦略、地域活性化に向けた都市づくりなど、最新の施策や技術情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第20～330号
平成21年1月21日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 前川 秀和
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成21年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、我が国においては「安全・安心で豊かな社会づくり」、「地球環境時代に対応した暮らしづくり」、「地域の活力と成長力の強化」等、大規模災害や地球温暖化また地域活力低下などへの対応が強く求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成21年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるのものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第552回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成21年9月16日(水)～18日(金)、山形市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働、良好な景観形成、地域の活性化等について学ぶとともに、河川については、治水対策への取り組み、河川環境の保全・復元、河川管理など、都市・地域整備については、地域再生・都市再生に向けた取り組み、都市防災の取り組み、都市交通戦略、地域活性化に向けた都市づくりなど、最新の施策や技術情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、山形県・山形市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,600円〔昼食の斡旋なし〕
正会員(地元〔山形県内〕)..... 1,500円〔 〃 〕
非会員..... 14,600円〔 〃 〕
「正会員(地元)」とは、開催地(山形県)内に勤務の「正会員」のみ
聴講のみの参加は可能です

現場研修料：..... 7,200円〔うち昼食代1,200円〕
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までにメール又は
郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

申込書送付先：(社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.dion.ne.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル 7F
TEL: 03(3585)4546 FAX: 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：(社)全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数の「552」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成21年8月28日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

申込の取り消しについては下記のように処理いたします。なお、講習会終了後に所属協会指定口座へ
ご返金いたします。

平成21年9月4日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成21年9月11日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

この講習会は、(社)全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」の認定講習会として単位
が取得できます。(会場で継続学習制度(CPDS)についての案内を配布します。)

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第552回建設技術講習会（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）日程

～安全で快適な暮らしの実現と地域活力の向上に向けて（河川行政、都市・地域整備行政における施策の展開と技術情報）～

- 河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働、良好な景観形成、地域の活性化等について学ぶとともに、河川については、治水対策への取り組み、河川環境の保全・復元、河川管理など、都市・地域整備については、地域再生・都市再生に向けた取り組み、都市防災の取り組み、都市交通戦略、地域活性化に向けた都市づくりなど、最新の施策や技術情報を得る -

会場 …… 【合同 / (2日)河川】山形テルサ（テルサホール）
 【(2日)都市・地域】 " (アプローズ)
 〒990-0828 山形市双葉町 1-2-3 TEL023-646-6677代

1日目 平成21年9月16日(水) 【合同】テルサホール (敬称略)			
10:00	あいさつ	山形県知事	吉村 美栄子
10:20	"	山形市長	市川 昭男
10:20	住民参加型社会基盤整備の	京都府立大学生命環境学部	宗田 好史
11:50	プロジェクト・マネジメント	環境デザイン学科 准教授	
13:00	景観からの地域づくり・まちづくり	東京大学アジア生物資源環境研究センター	堀 繁
14:30		教授	
14:40	【特別講演】		
15:40	直江兼統の治水遺構について(直江石堤)	米沢市教育委員会文化課 文化財主査	手塚 孝
15:50	【地域事業の紹介】	山形県村山総合支庁建設部河川砂防課	森 康久
16:20	地域との協働による河川管理 ～山形県ふるさとの川アダプト事業～	技術主査 八千代台環境美化推進協議会	田所 三男
16:20	【地域事業の紹介】	山形市まちづくり推進部都市政策課	渡邊 ^{たかし} 俊
16:50	山形市のまちづくり(山形市駅西土地区画整理事業 都市計画道路十日町双葉町線 他)	街路係長	
2日目 9月17日(木) 【河川部門】テルサホール (敬称略)			
9:40	河川整備の計画の現状と課題	国土交通省河川局河川計画課	舟橋 弥生
10:40		河川計画調整室 課長補佐	
10:50	多自然川づくりの取り組み	国土交通省河川局河川環境課	吉田 邦信
11:50		課長補佐	
13:00	生きものにとっての川づくりの快適性	淡水魚類研究者	君塚 芳輝
14:00			
14:10	河川管理の現状と課題	国土交通省河川局治水課	寺井 喜之
15:10		企画専門官	
15:10	閉会のあいさつ	山形県建設技術協会長	松尾 良夫
		(山形県土木部次長)	
	地域の独自調査		
2日目 9月17日(木) 【都市・地域部門】アプローズ (敬称略)			
9:40	都市防災	国土交通省都市・地域整備局	鐘江 正剛
10:40	～都市の防災対策の現況と課題～	都市・地域安全課 広域防災専門官	
10:50	まちづくり支援制度の課題と方向性	国土交通省都市・地域整備局まちづくり	しん ^{がい} 階 寛 恭
11:50	～個性溢れるまちづくりを推進するための支援制度～	推進課都市総合事業推進室 課長補佐	
13:00	都市政策の課題と基本的方向	国土交通省都市・地域整備局	新屋 千樹
14:00		都市計画課 課長補佐	
14:10	新しい時代の都市交通施策に関する動勢	国土交通省都市・地域整備局	神田 昌幸
15:10	～総合交通戦略を推進する諸施策の展開～	街路交通施設課 街路事業調整官	
15:10	閉会のあいさつ	山形市建設技術協会長	玉ノ井 一
		(山形市まちづくり推進部長)	
	地域の独自調査		
【現場研修】3日目 9月18日(金)			

山形テルサ横駐車場(8:20)出発

街路事業十日町双葉町線双葉町跨道橋新設事業(下車説明)

広域河川改修事業 馬見ヶ崎川(村山高瀬川)(下車説明) 一般国道13号上山バイパス整備事業(下車説明)

昼食(東置賜郡高島町内) 網木川ダム建設事業【平成20年度全建賞受賞事業】(下車説明)

J R米沢駅(15:30) / J R山形駅(16:50)着後解散

解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第552回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 街路事業 十日町双葉町線跨道橋新設事業

..... 山形市五日町～香澄町

山形市では、山形駅周辺において、駅を境に街が東西に分断されているため、JR線断面において慢性的な交通渋滞が起り、都市機能の低下が見られるなど良好な市街地の形成と交通網の整備が急務とされていました。

とりわけ、中心市街地へのアクセス性の悪化が、中心商店街の衰退の一因となっており、喫緊の課題となっております。

このため平成10年度より、山形市の駅環状道路の一部に位置づけられている都市計画道路十日町双葉町線に着手し、鉄道のアンダーパスにより東西の分断されている都心部のアクセスを強化するとともに、良好な市街地を形成する路線として整備されています。



2 広域河川改修事業 馬見ヶ崎川(村山高瀬川)

..... 山形市大字青柳

全国的に、「日本一の芋煮会」で有名な「馬見ヶ崎川」の右支川に位置する村山高瀬川は、高瀬地区を北西に流れ、平野部では西流し、長町地内で野呂川を合わせ馬見ヶ崎川に合流する1級河川であり、農業用水や豊富な地下水の供給源になっています。また、昔から暴れ川として有名であり、築堤や災害復旧による護岸工事等により部分的な対応を行ってきましたが、昭和58年から抜本的に事業を進め、50年に1回の洪水に対して安全となるよう計画されました。

また河川改修事業と併せて親水空間整備の考えを取り入れ、都市公園、親水河川のほか、病院や学校を一体的に整備した「健康の森公園整備事業」と一体となって整備進め、水と緑と健康に囲まれた開放感のある安らぎを与えてくれる空間となりました。休日には親子連れなどで賑わい、また最近では病院のリハビリコースの1つとして使用されるなど、新しい山形の人気スポットとして期待されています。



3 上山バイパス整備事業

..... 南陽市樋～山形市蔵王

上市市街地を通過する区間・上山バイパスも、付近の工業団地を支える流通経路として、また温泉街をはじめとする観光資源へのアクセスにと利用されてきましたが、交通量の増加や車両の大型化などによる現道の交通混雑や生活環境の悪化が進んでいました。

このバイパスは、山形県南陽市樋～山形市蔵王までの総延長17.2kmを整備するもので、平成21年までに11.7kmが供用開始されており、全線の供用開始を目指しています。現在、工事中の箇所は山形県南陽市樋～山形県上市市中山までの5.5kmで、法面のアンカーやトンネル等の部分を施工しており、完成すれば、渋滞解消はもとより地域住民にとっても安全で安心した道路となります。



4 網木川ダム建設事業(平成20年度 全建賞受賞事業)

..... 米沢市大字築沢

網木川ダムは、一級河川最上川水系網木川の山形県米沢市大字築沢に位置し、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び水道用水を目的とした多目的ダムです。昭和54年度に予備調査に着手し、昭和63年度に建設採択を受けて以来、29年間に及び歳月をかけて平成19年度に完成しました。網木川ダムは、堤高74.0m、堤頂長367.5m、堤体積2,155,000m³、総貯水容量955万m³、総事業費486億円の中央コア型ロックフィルダムです。

網木川ダムの建設にあたっては、コスト削減、施工の効率化・円滑化、ライフサイクルコスト低減及び住民参加等に取り組んできました。フィルダムとしては、日本で初めてプレキャスト埋設型枠(逆U字型)を採用し、工期の短縮と施工の安全確保・省力化を図りました。また、洪水吐きコンクリート打設において、連続・自動打設ができるタワーベルトコンベアを採用し、施工の効率化・品質の向上を図りました。

網木川ダムのキャッチフレーズは「置賜の水と緑と安全を守る網木川ダム」であり、NHK大河ドラマ「天地人」の直江兼続公が礎を築いた米沢市を中心にした置賜地域で重要な役割を担っています。今後とも兼続公の地域を愛する精神を受け継ぎ、地域発展に貢献していきたいとの思いを強くしています。

なお、本事業は平成20年度の全建賞を受賞しました。



第552回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には山形市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店
 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座 1015114
 お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「552」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル6階）
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成21年9月7日(月)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成21年9月8日(火)～9月14日(月)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成21年9月15日(火),16日(水),17日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルメトロポリタン山形	山形市香澄町 1-1-1 TEL:023-628-1111	シングル	30名	9,500円
B	ホテルサンルート山形	山形市香澄町 1-10-1 TEL:023-635-1111		50名	6,800円
宿泊斡旋人数合計				80名	

宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えないよう記入願います。

平成21年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名)

第552回建設技術講習会（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別				現場研修	宿泊予約日		
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に 囲みして下さい)	年齢		正会員		非会員			予約日にA・Bを記入して下さい		
			河川	都市	河川	都市		9月15日	16日	17日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料						現場研修の昼食は不要の申し出はできません	宿泊予約金			
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 9,600円 =		円			泊 × 4,000円			
正会員(地元)		名 × 1,500円 =		円						
正会員(地元)とは、開催地(山形県)内に勤務の「正会員」										
非会員		名 × 14,600円 =		円						
現場研修料		名 × 7,200円 =		円						
		計		円		計 円				

全建に振込

西鉄旅行に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03-3586-6640迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食の斡旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。